

褥瘡対策に関する評価

1 褥瘡の状態(部位毎に記載)

部位(部位名)									1	2	3	4	
1() 2() 3() 4()													
褥瘡の状態の評価 (DESIGN-R)	深さ	(0) 皮膚損傷・発赤なし	(1) 持続する発赤	(2) 真皮までの損傷	(3) 皮下組織までの損傷	(4) 皮下組織を超える損傷	(5) 関節腔、体腔に至る損傷	(U) 深さ判定が不能の場合					
	浸出液	(0) なし	(1) 少量: 毎日の交換を要しない		(3) 中等量: 1日1回の交換		(6) 多量: 1日2回以上の交換						
	大きさ (cm ²) 長径×長径に直行する最大径(持続する発赤の範囲も含む)	(0) 皮膚損傷なし	(3) 4未満	(6) 4以上16未満	(8) 16以上36未満	(9) 36以上64未満	(12) 64以上100未満	(15) 100以上					
	炎症・感染	(0) 局所の炎症徴候なし	(1) 局所の炎症徴候あり(創周辺の発赤、腫瘍、熱感、疼痛)			(3) 局所の明らかな感染徴候あり(炎症徴候、膿、悪臭)		(9) 全身的影響あり(発熱など)					
	肉芽形成 良性肉芽が占める割合	(0) 治療あるいは創が浅い為評価不能	(1) 創面の90%以上を占める	(3) 創面の50%上90%未満を占める	(4) 創面の10%上50%未満を占める	(5) 創面の10%未満を占める	(6) 全く形成されていない						
	壊死組織	(0) なし	(3) 柔らかい壊死組織あり			(6) 硬く厚い密着した壊死組織あり							
	ポケット (cm ²) 潰瘍面も含めたポケット全周(ポケットの長径×長径に直行する最大径)－潰瘍面積	(0) なし	(6) 4未満	(9) 4以上16未満		(12) 16以上36未満		(24) 36以上					
DESIGN-R の合計点(深さの点数は加えない)													

※該当する状態について、両括弧内の点数を合計し、「合計点」に記載すること。ただし、深さの点数は加えないこと。

2 褥瘡の状態の変化

	評価日	1か月前	2月前	3月前
	(月 日)	(月 日)	(月 日)	(月 日)
DESIGN-Rの合計点				

1 前月までのDESIGN-Rの合計点は、暦月内で最も低い合計点を記載する。

2 褥瘡の部位により合計点が異なる場合は、最も低い合計点を記載する。